

「霊峰の美 — 大観が描く富士」展（横山大観記念館 開館 50 周年記

念）開催のお知らせ

※横山大観の名画「霊峰飛鶴（れいほうひかく）」＜歌舞伎座第一緞帳原画＞を 5 年ぶりに公開します！

横山大観記念館（東京都台東区）では、2026 年 1 月 8 日（木）から 3 月 29 日（日）まで、開館 50 周年記念展「霊峰の美 — 大観が描く富士」を開催いたします。

横山大観（1868–1958）は、近代日本画を代表する巨匠であり、第一回文化勲章を受章した画家です。生涯を通して数多くの名作を世に送り出しましたが、なかでも富士山を主題とした作品群は、大観芸術の象徴として広く知られています。

歌舞伎座第一緞帳原画《霊峰飛鶴（れいほうひかく）》をはじめ、さまざまな姿の富士を描いた作品は、雄大な自然への畏敬の念と日本的美意識とを融合させ、多くの人々を魅了してきました。こうした大観の富士図が数多く生み出されたのが、横山大観記念館（国史跡および名勝「横山大観旧宅及び庭園」）内に残る画室です。

この画室は、大観自身が設計・指導し、創作活動を行った場所であり、生活と制作の場が一体となった往時の姿を、現在まで大切に保存・公開しています。

横山大観記念館では、畳敷きの空間に設えられた床の間に掛けられた作品を、日本画本来の鑑賞様式そのままにお楽しみいただけます。霊峰・富士に託された横山大観の芸術世界を、ぜひこの機会にご堪能ください。

横山大観記念館 03-3821-1017
学芸部 佐藤・横山